

橋田氏保育園 環境保全審議会 質問事項【期限：R4.3.22(火)9：00】★回答記入済み

	質問・意見・要望等	回答
1	敷地内に駐車場が確保されているか。送迎のための屋外空間が確保できているか。	駐車場スペースは確保してあります。加えて隣地の金子博医師宅(園舎の旧所有者)の南側スペースを使ってよいとのご返事をいただいています。
2	駐車場は何台位駐車できるか	敷地に 5 台、金子先生宅に 5～6 台は可能です。
	児童福祉施設としての基準に適合しているか。 (間仕切壁、内装制限、非常用照明、敷地内通路、居室の採光面積等)	児童福祉施設の設備及び運営に関する基準(抄)第 5 章第 32 条による基準を満たしています。定員 19 名の小規模保育事業 A 型保育園で認可申請をしますが、20 名以上の認可保育園に対応できる面積、設備になっています。
4	近隣住民の質問に対し、どのような説明をしたのか *送迎時と通勤時間帯の車の運行ルートの質問がありました。	2月11日に戸別訪問、留守宅には案内文書を投函。0～2歳児の19名の小さな保育園で、登降園の時間もバラバラです。送迎時の注意事項として、近隣の方の運行ルートを職員、保護者に周知します。また、送迎時は職員が協力して渋滞を避けるように対応します。
5	保育園の廃棄物の取り扱いは、地区のルールでよいのか。事業系廃棄物ではないか	保育園は事業者が運営する施設に該当するので、原村の事業系廃棄物の処理基準で対処します。
6	周りに大きな音が出るか。	赤ちゃんの泣き声は聞こえるかと思いますが、保育園は静かな環境を必要としていますので、騒音は発生しません。

子育て環境が良くなることは、村の未来にとって大事なことなので、良い形でスタートできることを願います。原村行政の協力とバックアップあってこそその事業かと思えます。これからの原村を担う若い子育て世代の保育環境に大いにプラスとなる新しい風を感じます。移住促進にもつながる、未永い継続運営を強く望みます。

★「ハヶ岳 風の子保育園」は、原村ではじめての産休明け保育園です。コロナ禍で社会環境が変化し、子育て世代の生活スタイルも多様化しています。開設、運営にあたっては、原村の保育制度を補完して、「笑顔あふれる子育ての村へ」を乳児保育の分野でともにめざしたいと思えます。

乳児保育は移住者だけでなく、観光産業や農業者、近隣に通勤する人たちの子育てをサポートできる施設です。設置基準のご質問に関してハード面はもちろん、ソフト面(保育士の人数、乳児保育経験、新生児の看護師、離乳食調理、)や地域の子育て相談などにも対応してお役に立ちたいと思えます。「原村には乳児保育園があるから、赤ちゃんが生まれても安心」な村」として、移住促進、少子高齢化対策にも貢献したいと思えます。また、乳児の保育士養成や社会福祉法人化で、将来は赤ちゃんからお年寄りまで安心して過ごせる諸施設をつくる夢があります。みなさまのご理解をいただき実現させたいと思えます。